

# 読書をしよう！読書の勧め！面接対策に備えよう 推薦図書一覧

	タイトル	編著者	発行所	コメント
1	思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房(ちくま文庫)1986	考えること、思考の整理方法について、体系的に書かれた入門書。
2	人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ(新版)	ロバート・フルガム著；池央歌訳	河出書房新社, 2004	私の生活信条(クレド)から書かれています。幼稚園で先生と約束した、ずるをしないこと。大人になっても守られていますか？
3	自助論	サミュエル・スマイルズ著／竹内均 訳	三笠書房, 2003	19世紀にイギリスで出版された啓発本。「天は自ら助くる者を助く」日本でも明治時代からよく読まれている。
4	日本の歴史をよみなおす	網野善彦	筑摩書房(ちくま学芸文庫)	日本は中国、朝鮮半島、台湾の前に横たわる島です。この日本がたどってきた歴史を讀みなおしてみよう。
5	日本辺境論	内田樹	新潮社(新潮新書)	日本文化とは何かーを追求した学者たちの理論を内田が紹介した本です。膨大な本を読まずにわかる日本人論!!
6	「池上彰の学べるニュース」1・2・3	池上彰+「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」スタッフ 編集	海竜社	現在起きている政治・経済・国際問題など、聞いてはいるが多分わかっていないであろう事を分かり易く解説しています。
7	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海	ダイヤモンド社	分かりにくそうなマネジメントの勉強を始める最初に読むと、他の本にも入り易いかと思われず。
8	伝える力	池上彰	PHP研究所(PHPビジネス新書)2007	現代人に必須の能力といえる「伝える力」の磨き方、高め方のヒントを「伝え」てくれる一冊。
9	経済は感情で動く	マッテオ・モッテリニ二著；泉典子訳	紀伊國屋書店, 2008	経済学は人の幸せを考えない学問らしいけど、経済を動かしているのは、人なのだ。
10	がんばらない	鎌田實	集英社(集英社文庫), 2003	鎌田さんは、諏訪中央病院の名誉院長です。医者という仕事は「死」といつも向かい合っている。鎌田さんがいう「がんばらない」とはー
11	「旭山動物園」革命：夢を実現した復活プロジェクト	小菅正夫	角川書店(角川oneテーマ21), 2006	入場者減の動物園を大人気の動物園に復活させたプロジェクト。これは経営再建のモデルとしても興味深い。
12	行列ができる店はどこが違うのか：飲食店の心理学	大久保一彦	筑摩書房(ちくま新書), 2007	具体例がいっぱいの「行列ができる店」改造法。モノを買うとき、どのように自分で意思決定したのか、常に意識してみると、お客さんの心理が読めてくる。
13	こころ	夏目漱石	多くの出版社から発行	漱石の著名な小説。鎌倉で知り合った「先生」との交流とその死が若い青年の目で語られる。
14	さぶ	山本周五郎	角川春樹事務所(ハルキ文庫), 2010	時代小説。経師屋に奉公する栄二とさぶという二人の対照的な人物。栄二は、無実の罪を着せられて人足寄場にやられる。
15	しゃべれどもしゃべれども	佐藤多佳子	新潮社(新潮文庫), 2000	小説。主人公は、作家の二ツ目。しゃべることが苦手な人物たちを相手に落語指南をすることになる。
16	木を植えた人	ジャン・ジオノ著；原みち子訳	こぐま社, 1989	ただ1人で木を植え続け荒地を森に変えた人物の物語。
17	天地明察	沖方丁	角川書店, 2009	暦が古代日本よりいかに大切だったか・暦づくりの大変さ、また和算の素晴らしさが分かる本です。
18	「神様のカルテ」「神様のカルテ2」	夏川草介	小学館, 2009-	松本の病院で働く医師の葛藤を描くベストセラー。今夏映画公開。医療事務希望者に限らず信州人として必読。
19	かもめのジョナサン	リチャード・バック著；五木寛之訳	新潮社(新潮文庫), 1977	群れを追放された一羽のかもめの生き方を通して、自由な精神を貫き、ありのままの自分であることの大切さを描く。
20	道をひらく	松下幸之助	PHP, 1991	幾多の困難に直面したバノンニックの創始者・松下幸之助が語りかける。自らの支えとしながら逆境を乗り越えた「考え方」。
21	センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン著；上遠恵子訳	新潮社, 1996	「センス・オブ・ワンダー」とは神秘さや不思議さに目を見はる感性的なこと。世界は美しさにあふれている。
22	これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学	マイケル・サンデル著；鬼澤忍訳	早川書房, 2010	ハーバード大学で行われている哲学の講義をもとにした本。
23	のぼうの城	和田竜	小学館, 2007	城を秀吉の攻めから守るため立ち上がったのは、でくの坊と噂される「のぼう様」こと成田長親だった。家臣、領民の心を一つにまとめたのは、のぼう様の人柄が優しさか。
24	もの食う人びと	辺見庸	角川書店(角川文庫), 1997	飽食の日本から出て、食うという人間にとって一番大切な行為を世界のあちこちで知る。食うとはどういうこと？飢餓の国で、汚染地帯で、内戦の国で。
25	フランス映画史の誘惑	中条省平	集英社(集英社新書)	アメリカの娯楽映画とは異なる、人間とこの世の真実への深い洞察にみちたフランス映画を堪能できる1冊。
26	大地の子	山崎豊子	文芸春秋(文春文庫)	本書を読まずして、現在の日中問題を語ることは出来ぬ。3日もあれば一気に読み通すことのできる感動巨編。
27	学問のすすめ 現代語訳	福沢諭吉(廣藤孝翻訳)	ちくま新書	福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすすめ』を口語に移した現代語訳。現代にも通じる、今の時代こそ響く啓蒙本。
28	ビジネスマンの父より息子への30通の手紙	G.K.ウオード(城山三郎 翻訳)	新潮社(新潮文庫)	面接官も人の親。"息子""娘"を問わず、親が人生の先輩として我が子に語るアドバイスが心に沁みる1冊。
29	日本で一番大切にしたい会社	坂本光司	あさ出版	働くことの意味、会社という存在の意味を実例で、わかりやすく教えてくれます。
30	働く幸せ・仕事で一番大切なこと-	大山泰弘	WAVE出版	知的障害者が社員の7割、50年間にわたり好調な経営。「私たちは、なぜ働くか」の、答えがあります。
31	天平の薔	井上 靖	新潮文庫	5度難破という困難な渡航を乗り越え、日本に戒律をもたらした鑑真和尚の壮大なロマンを描いた井上文学。
32	聖職の碑	新田次郎	講談社	想定外の出来事、極限の辞退に直面した時人はどう決断し行動するだろうか。「駒ヶ岳遺難」は地元長野県で起きた史実である。
33	準備する力	川島 永嗣	角川書店	サッカー日本代表GK川島永嗣が、目標を持つ大切さとそれに向けた「準備」の大切さが綴られています。彼が培ったセルフマネジメントのノウハウを公開。
34	プロジェクトX リーダーたちの言葉	今井 彰	文春文庫	日本の繁栄の陰には、無名の日本人たちの血と涙のドラマがあった。様々なプロジェクトのリーダーたちが語った珠玉の「言葉」を厳選。
35	「人を動かす人」になるために知っておくべきこと	J.C.マクスウェル(渡邊美樹監訳)	三笠書房, 2010	ワタミグループの創立者である渡邊美樹氏監訳、推薦の図書。対人能力の大切さを説き、社会人の誰でもが読むべき一冊。
36	弱者の兵法 野村流 必勝の人材育成論・組織論	野村 克也	アスペクト, 2009	自らを「弱者」とする名伯楽・野村監督が説く人材育成・組織論。組織とは、人生とは何か。これから社会に出ようとする若い世代こそ必読。
37	夜と霧	V・E・フランクル	みすず書房	「1日一つのジョークを考えただけで生き残った。」ナチスの強制収容所を生き抜いた精神科医が著した名著。
38	社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった	香取 貴信	こう書房, 2011	「働くこと」「教えること」「本当のサービス」とはこういう事なんだ。やんちゃな高校生が、上司たちの下で学んだ大切な事とは何か綴られています。
39	スティーブ・ジョブズのプレゼン技術を学ぶ本	キム・キョンテ 著	こう書房, 2011	ジョブズが2005年に行なったプレゼンにアクセスし、見ながら読む本。これが、21世紀成功のアイコン、ジョブズのプレゼンだ。